

2024 年 1 月 10 日

エレクトロモビリティへの転換：BMW グループ・ミュンヘン工場、2027 年末から電動モデルのみを生産

+++2026 年からノイエ・クラッセ・セダンをミュンヘンでの生産予定 +++2027 年末、ミュンヘン工場で生産される内燃エンジン車の時代は 75 年の歴史に幕を閉じる +++ 長期的な拠点確保に 6 億 5,000 万ユーロを投資 +++

ミュンヘン発：BMW グループ・ミュンヘン工場は新時代の幕開けを迎える。2026 年より、この象徴的な新工場では、ノイエ・クラッセ・セダンが生産される。その 1 年後、ミュンヘン工場では、電気自動車のみを生産し、BMW グループの既存生産ネットワークの中で、2027 年末に電動モビリティへの転換を成功裡に完了する最初の拠点となる。

BMW AG 生産部門取締役のミラン・ネデリコヴィッチは、次のように述べている。「ミュンヘン工場は、当社の優れた適応能力を示す実例です。当社はこの工場に 6 億 5,000 万ユーロを投じて、2027 年末から新工場では電気自動車のみを生産する予定です。昨年だけでも、6 種類の電気自動車が生産されました。加えて、生産記録も樹立し、当社の生産ネットワークにおいて、供給と未来の形成という両面を同時に実行できることを証明しています」

BMW グループ・ミュンヘン工場ディレクターのペーター・ウェーバーは、次のように付け加えた。「ミュンヘン工場は BMW の中核的な役割を担います。当工場ではイノベーションを推進し、適応力を高めています。1960 年代と同様に、ノイエ・クラッセによってふたたび基盤を構築し、それをベースに工場自体が生まれ変わろうとしています。現在、ミュンヘン工場では 1 日当たりおよそ 1,000 台の自動車を生産しながら、この包括的な変革を推進が当然のように実行されており、これは全従業員による卓越したパフォーマンスのおかげで実現しています。ノイエ・クラッセ・セダンを先頭に、ミュンヘン工場は電氣化の未来へと導くことができ、光栄に感じています」

2027 年、ミュンヘン工場産の内燃エンジン車の時代が幕を閉じ、エレクトロモビリティへ円滑に移行

BMW グループ・ミュンヘン工場は、エレクトロモビリティ時代へスムーズな移行を示す最たる例である。

2015 年、BMW 3 シリーズの最初のプラグイン・ハイブリッド・モデルが内燃エンジン車と同じ生産ラインで製造された。2021 年には、BMW i4 が電気自動車として初めて同じ生産ラインで製造された。現在、この生産ラインから出荷される自動車 2 台のうち 1 台に、電気駆動システムが搭載されている。

2026 年以降、ミュンヘン工場におけるノイエ・クラッセの生産は、まずは現行モデルと並行して行われる。その 1 年後の 2027 年末から、BMW グループの新工場は、グローバル生産ネットワーク内の既存拠点として初めて電気自動車のみを生産する体制となり、適切な方法で転換が始まっている。そのため、1952 年に BMW 501 の生産が始まってから 75 年後、ミュンヘン工場で内燃エンジン車を生産する時代が終焉する。

ノイエ・クラッセは、ハンガリーのデブレツェン新工場とミュンヘン工場での生産開始後、中国の瀋陽とメキシコのサン・ルイス・ポトシの工場でも生産される。

大規模な改修により、長期的な拠点確保を実現

BMW グループ・ミュンヘン工場は、100 年以上の歴史にわたり、幾多の変転を経験しながら、改革を重ねてきた。航空機エンジンの製造から自動車製造への転換と共に、ノイエ・クラッセが 1960 年代の発売当初から大成功を収めたことは、当社の歴史における数々の変遷の中でも重要な意味を持っている。

現在、2026 年からノイエ・クラッセの試乗展開を実現するために、大規模な建設がいくつも進んでいる状況は、当社が転換へ向かっている証である。6 億 5,000 万ユーロの投資は、物流エリアを備えた新たな車両組立ラインと新しい車体工場を含む 4 つの建物のためのものである。

ミュンヘン中心部にある工場の限られた床面接にスペースを確保するために、約 70 年間親工場で行われてきた伝統的なエンジン製造は、イギリスのハムズホールとオーストラリアのシュタイアーに移された。1,200 人の従業員は、ミュンヘン工場における多様な生産戦略に関する研修を受け、また、生産ネットワーク内の他拠点で業務に携わっている。

1960 年代やそれ以降に行われたすべての変化と同様に、BMW グループ・ミュンヘン工場における現在の変革は、生産の継続と並行して行われている。建設工事が進む中、すべて同じ組立ラインを使う BMW 3 シリーズや BMW i4 など、毎日およそ 1,000 台の自動車が出荷されている。

当工場が広範にわたって新しい方向へ進むことは、今後のミュンヘン工場の長期的な保証や、バイエルン州の産業拠点に対する大規模な投資につながる。

BMW iFACTORY のコンセプトに沿ったミュンヘン工場のデジタル化

BMW iFACTORY のコンセプトでは、全く新しいデブレツェン工場から、100 年以上の歴史を持ち、変革が本格化しているミュンヘンの新工場に至るまで、BMW グループ内のすべての拠点において、最大限の柔軟性、優れた工程、傑出した統合性を保証している。BMW iFACTORY は生産ネットワーク全域において、生産の優れた知識・技術が活用されることを意味する。重要なポイントの一つは、人間、プロセス、システムの相互作用に対して、総体的なアプローチをとりながら、包括的なデジタル化を実現することである。これにより、プロセスを最適化し、従業員の業務をサポートする。データサイエンス、人工知能 (AI)、仮想化の 3 分野で実施される。

本件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先:

BMW カスタマー・インタラクション・センター

フリーダイヤル 0120-269-437

受付時間: 平日 9:00-19:00、土日祝 9:00-18:00

BMW ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>